

2013年7月11日

2013 日中科学技術シンポジウムのご案内

公益社団法人日本技術士会近畿本部
2013 日中科学技術交流実行委員会

はじめに

日中科学技術シンポジウムは、今回で8回目を迎えます。双方共通の関心事項をテーマに、2006年から日中で交互（上海、大阪）に開催し今日に至っています。一昨年より昨今の地球環境問題を念頭に置いた「持続可能な社会に向けて」をテーマに開催してきております。今回はこれを深化させることに重点を置き、京都市でシンポジウムを開催します。多数の論文投稿及びご参加をお願いいたします。

1. 開催日時及び場所

2013年11月29日（金）～30日（土） 京都市

(1) 29日（金）エキスカージョン（見学会）

①先端技術（大学、研究所、企業他） ②伝統的技術（陶芸、染織と織物、象嵌・金工他）

③観光（自然と歴史他）・・・中国要望を勘案して計画中（バスチャーター予定）

(2) 30日（土）シンポジウム及びレセプション

会場 キャンパスプラザ京都 JR京都駅西北（約5分程度）

京都市下京区西洞院通塩小路下る URL: <http://www.consortium.or.jp/>

2. シンポジウムのテーマ

「持続可能な社会に向けて」～科学技術者は何ができるか～ Part III

基調講演：

日本側：京都造形芸術大学学長（前京都大学総長）尾池和夫先生

「東アジア大変動帯」～地球科学から見る未来～（仮題）

中国側：依頼中

特別講演：

京都市 持続可能な都市を目指して（京都市の街づくり）（仮題）

分科会：

第1分科会：エネルギーと環境

省資源・省エネとライフスタイル、エネルギー効率向上と公害低減、化石エネルギーの有効活用、再生可能エネルギー、安全・安心な原子力エネルギー利用、植物光合成・バイオ工学、公害防止（大気・水質・土壌・騒音振動、その他）、3河3湖などの水質改善、水資源保全（地下水、表層水、河川湖沼）、水資源活用（淡水化、再生水、節水）、3R(Reduce 削減、Reuse 再使用、Recycle 再生利用) 技術、リサイ

クルゴミ処理、未利用・低熱源エネルギー（地中熱、地下水帯水層、氷雪、下水道水、復水、海水、他）

第2分科会：安全・安心 インフラ（基盤施設）整備と国際協力

インフラ整備と都市計画、高齢インフラの保全計画・保全技術、巨大災害対策と国際協力、都市災害の軽減対策・大型建造物の防災技術、生物多様性確保と開発保全、水質汚濁・水処理技術及び土壌汚染防止対策、食の安全・安心（職業倫理、社会システム、品質管理、食品価格と品質、流通・保管）と食の確保、ビッグデータの活用（交通渋滞、防災、犯罪防止、個人情報保護、他）、地球環境保全のための国際協力、持続可能な社会を目指す提案

第3分科会：都市と農村 少子高齢化

高齢化社会を見据えた社会資本の整備、環境共生都市・スマートシティ・コンパクトシティ、高齢者力の活用と技能伝承（経験、趣味、地域創造・村おこし、老人大学、老老介護、鍵っ子他）、環境保全と経済成長の両立、地産地消（地域産物の地域消費）と農工商連携（6次産業）、砂漠化防止・草原回復・荒地の地力回復、森林・里山・里海と共生可能な社会構築

第4分科会：ビジネスモデル研究

インフラ技術（鉄道、道路、港湾、ビル、ダム、都市ビル群、地下街、団地、ネットワーク、他）、低公害・省エネ型製造技術（鋳工業精錬、製紙、染色、他）、省資源・省エネ型技術（ESCO事業、省エネ診断、家電トップランナー製品、他）、地球環境保全・環境回復型技術（塩田跡地、砂漠化防止、節水商品、都市部植物活用、他）、品質向上・歩留まり向上（トヨタ式カイゼン、5S、設計・製造方法改善、他）、伝統技術・伝統製品を活用した新製品、新しい汚染水質浄化対策技術、日本人・中国人技術者活用（技術移転・伝承、中長期技術契約、他）

3. 論文募集日程

申込期限：2013年9月10日（火）

提出期限：2013年9月30日（月）

注 応募論文は原則として論文集に収録。発表論文は1分科会につき2-3編（日本側、中国側共）とし、日本側の発表論文は実行委員会で選定する。申込みは、エントリーシートに記入し、公益社団法人日本技術士会近畿本部にE-Mail又はFAXする。

4. 主催、共催、後援

主催：公益社団法人日本技術士会近畿本部、上海市科学技術協会

共催：立命館大学、上海市工程師学会、上海市科学技術協会学会服務中心、上海留日同学会

後援（予定）：大阪府、大阪市、京都府、京都市、大阪市立大学、大阪大学大学院工学研究科、

中華人民共和国駐大阪総領事館

◆ エントリーシート ◆

日付： 年 月 日

2013日中科学技術シンポジウム

「 持続可能な社会に向けて～科学技術者は何ができるか～Part III 」

◇申込者◇

氏名・所属	
勤務先・所属学会等	
郵便番号 住所	〒
TEL / FAX	
メールアドレス	

◇論文申込◇ 申込期限：2013年9月10日(火) 提出期限：2013年9月30日(月)

氏名・所属等	
部門・専門等	
希望の分科会	
論文題名	
要旨（論題紹介） （和文200字程度）	

注1：提出論文は、原則として全て論文集に掲載の予定

注2：日本側発表論文は、実行委員会にて選定。パワーポイント使用(提出は2013年11月1日(金)必着)。

◇参加申込◇ 申込期限：2013年11月8日(金)

日 程	種 別	参 加 費	参加（注1）
2013年11月29日(金)	エキスカージョン	5,000円(含昼食代)	
2013年11月30日(土)	全体会・基調講演	技術士会会員及び共催・後援団体会員 4,000円(含昼食代) 非会員 5,000円 (同上) 院生・学生 2,000円 (同上)	
	第一分科会		
	第二分科会		
	第三分科会		
2013年11月30日(土)	レセプション	6,000円	

注1：参加の欄に○印記入

注2：参加費は銀行振込、三菱東京UFJ銀行堂島支店(普通預金) 店番058 口座番号0020720

名義 日中技術交流実行委員会会計長野恒己。なお、手数料は振込者負担でお願いします。

◇申込先◇ 公益社団法人 日本技術士会近畿本部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-9-15

TEL 06-6444-3722 FAX 06-6444-3740 E-mail pe@ipej-knk.jp

※ 個人情報、法令等に基づき適正に取り扱います。

論文作成要領

2013 日中科学技術交流実行委員会

1 提出形態

電子媒体 (MS-WORD)

2 提出期限

2013 年 9 月 30 日 (月) 必着 (メールに添付、E-mail 送付先: 近畿本部 pe@ipej-knk.jp)

3 用紙サイズ

A4 版 4 ページ以内 (図表、写真等を含む)

4 使用言語

執筆者の母国言語を原則とする (英文可)

5 ページ設定

① 余白は、上 30mm 左 25mm 右 25mm 下 25mm

② 本文文字サイズは 10.5 ポイントを基本とする

③ 使用フォントは、日文-MS 明朝 (題名などは MS ゴシック)、中文-適宜
英文-Century

④ 44 字/行、44 行/ページ 程度

題名 (12 ポイント)

Title (英文、12 ポイント)

氏名

所属等・Mail address

Abstract : (英文 300words 以内)

Key words : (英文)

本文 (母国語)

参考文献 : (9 ポイント)

略歴 :

ポイント表記のないものは 10.5 ポイント